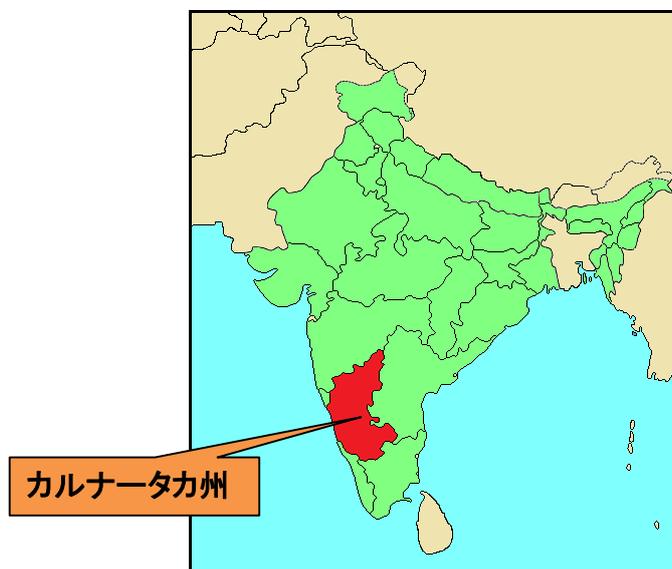


インド、カルナータカ州でマラリアが流行

2010年4月26日 ProMED 情報 (Deccan Herald)



最近、インドのカルナータカ Karnataka 州の 5 つの県がマラリア発生を報告しました。カルナータカ州中央政府の遂行する国立ベクター媒介性疾病対策プログラム(NVBDCP)に基づきマラリア対策をとっているところですが、これまでマラリア患者は常在地域から毎年報告されてきました。同州では最近、ビジャープラ Bijapur 県で 436 名、バーガラコーテ Bagalkot 県で 74 名、Koppal 県で 275 名、チトラドウルガ Chitradurga 県で 15 名、トゥマコル Tumkur 県で 214 名の患者が報告されました。

保健省は「保健担当者は、流行前に対策をとる必要があった。多くの保健担当者がマラリア流行の厳しさを理解していない。必要な行動を速やかに取らないとマラリアは多くの町に拡がる。」と述べています。明らかに、NVBDCP はカルナータカ州に対し、短期間でマラリア制圧を実施するよう書簡を送っています。

インドでは、2008 年には、47,160 名がマラリア確定診断を受け、8 名が死亡しました。熱帯熱マラリア患者は、9,957 名でした。2009 年には、確定診断患者数は 36,830 名で、5,685 名が熱帯熱マラリアでしたが、死亡患者はありませんでした。

[ProMED 調整者]

カルナータカ州を含む南部インドは、通常、マラリアについては危険性が低いと考えられています。しかし、ゴア Goa へ行った旅行者は、南インドの他の州におけるマラリアに関する情報がほとんどないと報告しています。

厚生労働省 福岡検疫所